

株主の皆さまへ

# 第115期 報告書

2014年4月1日 ▶ 2015年3月31日

# VALUE & QUALITY



日本バルカー工業株式会社  
NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.

証券コード：7995

基本理念

## VALUE & QUALITY

(価値の創造と品質の向上)

4つの  
経営理念

- ・ 社会の発展のために
- ・ 正正堂堂と
- ・ 世界中のステークホルダーへ
- ・ 独創的技術で

行動指針  
10項

- 1 事業を通じた社会への貢献
- 2 顧客感動の提供
- 3 人格と個性の尊重
- 4 株主との信頼関係の構築
- 5 地域社会との共生
- 6 安全衛生は全てに優先
- 7 コンプライアンス遵守と誠実な行動
- 8 環境にやさしいモノづくり
- 9 資産の保全と有効活用
- 10 チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

# VALUE & QUALITY

## 価値の創造と品質の向上

### ごあいさつ

株主の皆さまに第115期報告書をお届けします。

中期経営計画“NV・S6”の最終年度にあたる当期は、日本経済が緩やかに回復を続ける一方、海外においては地政学的問題をはじめ、多くのリスク要因が顕在化致しました。

このような事業環境下にありまして当社グループは、最終年度を迎えた第6次中期経営計画“NV・S6”に掲げた諸戦略を着実に実行致しました。

当社グループは、企業理念“THE VALQUA WAY”のもと、今営業期から開始する第7次中期経営計画“NV・S7”の諸戦略を速やかに実行に移し、「顧客感動提供企業」として持続的成長を実現するとともに、それに伴うあらゆるリスクに対応する体制を整備し、株主の皆さまのご期待に応えてまいります。

平成27年6月

代表取締役社長 兼 CEO

龍澤 利一



## Business Review

### 事業部門別の状況

#### シール製品事業

売上高 **27,934** 百万円

売上高  
構成比 **69.8** %



#### 事業概況

海外プラント向けが伸び悩んだものの、産業機械向けや海外も含めた半導体向けの需要が堅調に推移し、売上高は279億3千4百万円（前年同期比0.6%増）、セグメント利益は27億1千7百万円（同10.9%増）となりました。

#### 今後の展開

バルカーグループのコア事業として、海外展開の加速を図るとともに、シールエンジニアリングサービスの提供を通じた顧客接点の強化を行い、業績の拡大を図ってまいります。

#### 機能樹脂製品事業

売上高 **9,614** 百万円

売上高  
構成比 **24.0** %



#### 事業概況

国内並びに中国において需要が堅調に推移したことに加え、台湾における販売が期中から回復を示したことから、売上高は96億1千4百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益は4億1千7百万円（同50.5%増）となりました。

#### 今後の展開

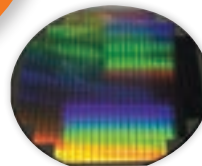
持続的な経済成長が期待される海外市場に向けて業容の拡大を行うとともに、国内においても新たな分野へ果敢に挑戦し、ノンシール分野の中核事業として成長を図ってまいります。

連結売上高  
**40,021**  
百万円

#### 環境関連事業

売上高 **2,472** 百万円

売上高  
構成比 **6.2** %



#### 事業概況

シリコンウエハーリサイクル事業の販売が回復したものの、メンブレン製品は需要の減少により販売が減少し、売上高は24億7千2百万円（前年同期比1.0%減）、セグメント損失は3億2千万円（前年同期はセグメント損失5億6千1百万円）となりました。

#### 今後の展開

主にメンブレン製品を対象に選択と集中を速やかに実施し、収益性の向上を図ってまいります。

# Consolidated Financial Statements

## 連結財務諸表

### 連結損益計算書

単位：百万円

科目	前期	当期
	自 2013年4月 1日 至 2014年3月31日	自 2014年4月 1日 至 2015年3月31日
売上高	39,407	40,021
売上原価	26,546	26,746
売上総利益	12,861	13,274
販売費及び一般管理費	10,693	10,460
営業利益	2,167	2,814
経常利益	2,299	3,087
税金等調整前当期純利益	2,253	2,893
少数株主損益調整前 当期純利益	1,436	1,926
当期純利益	1,356	1,803

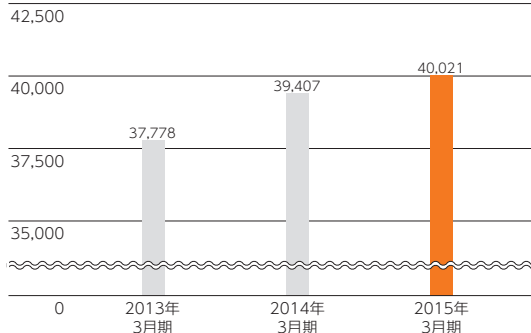
### 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末	当期末
	2014年3月31日	2015年3月31日
資産の部		
流動資産	21,834	23,123
固定資産	20,318	20,527
繰延資産	28	18
資産合計	42,181	43,669
負債の部		
流動負債	10,837	10,980
固定負債	3,683	3,828
負債合計	14,521	14,808
純資産の部		
株主資本	24,959	25,343
その他の包括利益累計額	1,131	2,208
少数株主持分	1,569	1,308
純資産合計	27,660	28,860
負債純資産合計	42,181	43,669

### 売上高

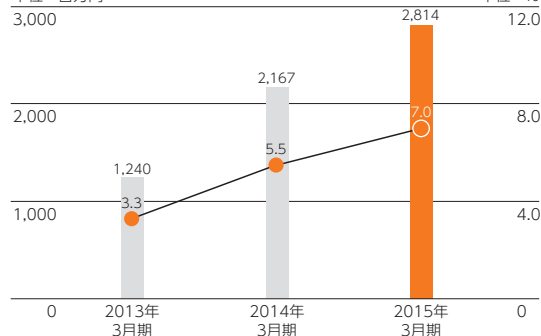
単位：百万円



### 営業利益 / 営業利益率

単位：百万円

単位：%



### 配当

	中間	期末	年間配当
2013年3月期	5.0 円	5.0 円	10.0 円
2014年3月期	5.0 円	5.0 円	10.0 円
2015年3月期	<b>5.0 円</b>	<b>6.0 円</b>	<b>11.0 円</b>

## 先端産業のさらに先へ — 半導体市場への取り組み —

バルカーは、先端技術の粋を集めた半導体市場へも積極的に展開しています。

DRAM・NANDフラッシュ・CMOSイメージセンサーなどを製造する企業に向けてはシール製品の高機能エラストマーを、そして、半導体製造装置のメーカーに向けては高機能エラストマーに加えて機能樹脂製品のふっ素樹脂加工品などを提供しており、さらにシリコンウエハーのリサイクル事業も加え、日本、アメリカ、韓国、台湾などで事業展開しています。

バルカーはこれからも高まる技術要求に応えるだけでなく、それらの一歩先を見据えたものづくりを進め、半導体市場における業績拡大を図ってまいります。



※機能樹脂製品群



※高機能エラストマー製品群

## ASEANの成長エンジンへの取り組みを強化 — ベトナム・サプライチェーンを増強 —

ベトナムはASEAN諸国のなかでも、成長期待を強く集めている国の一つです。勤勉な国民性、豊富な労働人口、物流インフラ整備の容易性など、その根拠は枚挙に暇がありません。

バルカーは、2008年にハノイ近郊のハイズン省にバルカーベトナムを設立して以来、生産拠点として重視する一方、今後の経済の成長性を鑑み、市場としての可能性にも着目してきました。

こうした中、昨年、石油精製・石油化学の大型プロジェクトの建設が開始されました。バルカーベトナムは、そこで発生するシール製品への需要に対応するため生産設備を増強、また、新たにハノイ市内に営業拠点を新設し、次なるチャンスの獲得に向けても備えをしています。



※バルカーベトナム ハノイ支店

# 中期経営計画“NV・S7”

— 今営業期よりスタート —

バルカーグループは2015年4月より第7次中期経営計画“NV・S7”（New Valqua Stage Seven）への取り組みをスタートしました。“NV・S7”においては、基本方針として《創業90周年に向けて『THE VALQUA WAY』のもと「選択と集中」によるさらなる成長力の強化》を掲げ、

1. 顧客価値の最大化につながる「H&S企業」\*への脱皮
  2. スクラップ&ビルドによるQCDSの飛躍的向上
  3. 多様化するグローバルリスクへのマネジメントの強化
  4. 競争力向上のための人材開発とその活用
- ダイバーシティの推進 —

などの主要戦略を着実に具現化し、持続的成長と基盤の強化を図ってまいります。

\*『H&S企業』とは、H（ハード=製品）とS（シールエンジニアリング・サービス）を通じて顧客価値の最大化を図る企業を指します。

## 【“NV・S7” 目標数値（連結）】

(百万円)

2018年3月期

売上高	45,000
営業利益	4,500
営業利益率	10.0%

CSR  
REPORT

## 《CSR》海外における人材開発研修

Collaboration for  
Customers

顧客のための協働

Superior  
Quality

第一級の品質

Rule  
First

ルール最優先



※龍騰研修最終発表会において、自ら成果を報告する研修生

バルカーは、従業員一人ひとりの成長の総和がグループの発展の基盤であると考えており、国内のみならず海外拠点においても、各階層における教育やコンプライアンスなど業務上の課題に対する教育、現場作業員に対する安全作業教育や危険予知トレーニング、5S教育、安全衛生意識の向上に関する啓蒙教育を実施するなど、様々な教育・研修体系により、総合的な人材開発に努めています。

また、上海の2工場では、現場作業員のものづくり力向上を目的とした課題解決型研修「龍騰研修」を実施。3年目を迎えた当期は「成果に拘る」「維持・定着」を重点テーマとし、50名の研修生全員が各々の習得内容の修了証書を手にしました。

## 会社の概況 (2015年3月31日現在)

社名	日本バルカー工業株式会社 NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.
創業	昭和2年1月21日
設立	昭和7年4月8日
資本金	13,957百万円
発行済株式総数	93,443,668株
株主総数	10,477名
従業員数	420名 (連結 1,578名)

役員 (2015年6月17日現在)

### 取締役

代表取締役社長 兼 CEO	瀧澤 利一
専務取締役	黒川 清敬
取締役 専務執行役員 (CCO)	加藤 慶治
取締役 (社外)	清川 佑二

### 監査役

常勤監査役	林 遙
監査役	楽満 靖
監査役 (社外)	中根 堅次郎
監査役 (社外)	中神 啓四郎

CEO=最高経営責任者

CCO=最高コンプライアンス責任者

### 執行役員

専務執行役員	小林 健一
専務執行役員	小田 博志
常務執行役員	浜田 浩
常務執行役員	菱沼 晶光
常務執行役員	山根 啓
常務執行役員	青木 睦郎
執行役員	朝比奈 稔
執行役員	高 昭夫
執行役員	小川 禎
執行役員	椿山 善昭
執行役員	上田 和也
執行役員	平石 智之
執行役員	谷田部 麻美子

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
その他必要があるときは、  
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人  
および特別口座  
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人  
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)

〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

☎0120-782-031

(ホームページ)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

公告方法

電子公告  
<http://www.valqua.co.jp/ir/koukoku.html>  
ただし、事故その他やむを得ない事由により  
電子公告によることができない場合は、  
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部



日本バルカー工業株式会社  
NIPPON VALQUA INDUSTRIES, LTD.

〒141-6024

東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower24階

TEL : 03-5434-7370 FAX : 03-5436-0560

URL : <http://www.valqua.co.jp/index.html>



※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。  
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。